

日本一安全な納豆を山木屋地区から発信します

山木屋で納豆製造を再開！

原発事故により山木屋地区から福島市に移転していた自動車部品製造・食品加工の「カミノ製作所」が、12月末から、山木屋での納豆製造を再開しました。山木屋地区で食品製造を再開するのはこれが初めてです。社長の神野三和子さん（福島市・写真右）は、「再開にあたり、以前は不安もあったが今は期待や楽しみしかありません。再びこの山木屋の地で納豆づくりができることが本当にうれしい。納豆作りを再開することで、山木屋のみなさんを勇気づけたい」と力強く話してくれました。原料にとことんこだわり製造されていた「こだわり一豆（いとう）賞」の販売再開のほか、新商品として福島県鮫川村産の大豆を使った商品も1月中に販売を開始する予定です。「日本一安全な納豆を作りたい」という思いのも



と、同社にはクリーンルームが新設され、放射性物質に対する安全対策は万全です。将来的には山木屋地区産の大豆を使った商品を作りたいと話す神野社長。その強い思いは、山木屋を照らす一筋の光となり、近い将来きっと実を結ぶはずです。

町復興公営住宅の安全祈願祭

新中町へ建設する町復興公営住宅40戸の建設工事がいよいよスタートしました。12月1日に行われた町復興公営住宅安全祈願祭は、建設工事関係者のほか、川俣南自治会長、山木屋自治会長が出席する中、厳粛にとりおこなわれました。山木屋地区のみなさんのふるさとへの帰還につながる復興公営住宅建設工事が、安全に、そして着実に進められることを願った安全祈願祭となりました。



多くの出席者が工事の安全を願いました。

Town Topics

11/29



勢よくスタート！ 最後まで頑張れ！

第40回川俣町駅伝競走大会を開催 全62チームが川俣路を激走！

川俣中学校をスタート・ゴールとする第40回川俣町駅伝競走大会が開催されました。思いを込めたたすきを胸に、各ランナーが川俣路を激走しました。7部門で競われ、小学生の部は川俣サッカースポ少A(男子)、川俣南小学校女子(女子)、川俣JFスポ少エース(混合)、中学生の部はカワチュウサイキョウ(男子)、最強女子軍団チーム(女子)、高校生の部はロケット団川俣支部、一般の部は伊達消防南分署が制しました。



安田仙松さんに全国表彰、布野清子さんに東北地区表彰

町スポーツ推進委員に表彰

川俣町スポーツ推進委員である、安田仙松さん（大綱木）が全国スポーツ推進委員連合 30 年勤続表彰、また、布野清子さん（日和田）が、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受けました。安田さんは、町スポーツ推進委員として 30 年務め、その間、福島県スポーツ推進委員協議会の理事長を務めるなど、川俣町だけでなく、福島県全体のスポーツ推進に尽力されています。一方、布野さんは同委員を 20 年務め、たくさんの人と出会い、常に刺激を受けながら活動を続けてきました。二人とも、今後も積極的にスポーツ推進活動に携わり、町スポーツ振興に尽力したいと話してくれました。



Town Topics

11/25

長年の調査員活動、ありがとうございます。

経済産業省所管統計調査功労統計調査員感謝状

吉田文芳さんに感謝状を伝達

吉田文芳（よしだ ふみよし）さん（福田）に、経済産業省所管統計調査功労統計調査員感謝状を伝達しました。吉田さんは、昭和 57 年に商業統計調査員を務めた後、同調査員を 8 回、そして、平成 23 年経済センサス活動調査調査員を務め、経済産業省が所管する統計調査の調査員として計 10 回活動いただきました。長年にわたる調査活動に敬意を表しますとともに、今後も各調査にご協力いただきますようお願いいたします。

Town Topics

11/28

富田幼稚園保育発表会が行われました。

一生懸命、がんばりました！

各幼稚園で保育発表会が行われました。富田幼稚園では、わらじを履いた子どもたちによるわらべ歌や、本物の山木屋太鼓を使った演奏など、楽しくにぎやかに発表会が行われました。多くの保護者や来賓のみなさんが見守る中でしたが、子どもたちは、一生懸命に練習した成果を発揮していました。まだまだ可愛らしい子どもたちですが、少しずつ成長している姿に、みなさん微笑ましい気持ちになったのではないでしょうか。



ドン・ド・ドン！ 力強い音色が響きました。



おわびと訂正

広報かわまた 12月号 4 ページに掲載しました「ナイス・パートナー」菅野孝典さん、菅野里枝さんご夫妻について、地区名に次の誤りがありました。

誤：菅野孝典さん 菅野里枝さん 夫婦（東福沢）

正：菅野孝典さん 菅野里枝さん 夫婦（**大綱木**）

深くおわび申し上げ、訂正いたします。

